

工事完成図書の電子納品運用ガイドライン（案）  
－電気通信設備編－

平成 26 年 1 月

名古屋高速道路公社

名古屋高速道路公社 工事完成図書の電子納品運用ガイドライン（案）

－電気通信設備編－

<目 次>

第1編 適用.....	1-1
1 適用.....	1-2
第2編 「工事完成図書の電子納品要領 電気通信設備編」への対応.....	2-1
1 適用.....	2-2
2 用語の定義.....	2-2
3 フォルダ構成.....	2-2
4 電子成果品等の管理項目.....	2-4
5 ファイル形式.....	2-9
6 ファイルの命名規則.....	2-9
7 電子成果品.....	2-10
8 その他留意事項.....	2-13
9 会社独自の運用ルール.....	2-14
付属資料1 国土交通省「工事完成図書の電子納品要領（案）電気通信設備編」との比較表.....	2-19
第3編 「CAD製図基準 電気通信設備編」への対応.....	3-1
1 総則.....	3-2
2 「2.電気施設設計～4.情報通信システム設計」の対応について.....	3-8
付属資料2 国土交通省「CAD製図基準（案）電気通信設備編」との比較表..	3-9
第4編 「デジタル写真管理情報基準」への対応.....	4-1
1 適用.....	4-2
2 フォルダ構成.....	4-2
3 写真管理項目.....	4-2
4 ファイル形式.....	4-3
5 ファイル命名規則.....	4-3
6 写真編集等.....	4-3
7 有効画素数.....	4-4
8 撮影頻度と提出頻度の取り扱い.....	4-4
9 その他留意事項.....	4-4
付属資料3 国土交通省「デジタル写真管理情報基準（案）」との比較表.....	4-5
巻末資料 しゅん功資料の納品形態	

# 第1編 適用

## 1 適用

本ガイドラインは、国土交通省が策定している「電子納品に関する要領・基準」を、名古屋高速道路公社（以下、公社）における電気・通信設備に関する工事に適用する場合に使用する。

### 【解説】

国土交通省は「電子納品に関する要領・基準」の策定を行っており、他発注機関に先行して電子納品を開始しているほか、各自治体等への全国展開も推進しているところである。

公社においても、

- 情報の長期保管、保管場所の削減
- 情報検索の迅速化
- 情報の共有による伝達ミスの低減

を図ることを目的に電子納品を実施する。ただし、公社の工事の特性、並びに電子納品の運用が国土交通省と異なるため、その部分について本ガイドラインに記載した。

したがって、公社の電気通信設備に関する工事を請負う者は、国土交通省の「電子納品に関する要領・基準」に合わせて、本ガイドラインを熟知した上で電子納品を実施されたい。

本ガイドラインが準拠する国土交通省の電子納品に関する要領・基準類及び策定期間は以下の通りである。

表 1-1 本ガイドラインが準拠する国土交通省の要領・基準類及び策定期間

国土交通省の要領・基準名称	策定期間
工事完成図書の電子納品要領 電気通信設備編	平成 22 年 9 月
CAD 製図基準 電気通信設備編	平成 22 年 9 月
デジタル写真管理情報基準（案）	平成 20 年 5 月

国土交通省の「電子納品に関する要領・基準」は以下のアドレスより入手可能である（平成 26 年 1 月現在）。

<http://www.cals-ed.go.jp/>

なお、国土交通省の「電子納品に関する要領・基準」は、対象範囲の拡大、必要な項目の追加や見直しにより改訂されることが想定されるため、国土交通省の改訂に合わせて、適宜、本ガイドラインも改訂していくものとする。

## 第2編 「工事完成図書」の電子納品要領 電気通信設備編」への対応

## 1 適用

本編は、以下に示される名古屋高速道路公社の共通仕様書及び特記仕様書に規定される成果品に適用することを基本とする。

- (1) 名古屋高速道路公社「電気・通信設備設計工事共通仕様書」

## 2 用語の定義

国土交通省に準拠する。

ただし、設備図書の定義は、以下のように置き換える。

「設備図書」

設備図書とは工事竣工後の保守に必要な図面・文書で、機器完成図、機器承諾図および工事報告書等をいう。

## 3 フォルダ構成

国土交通省版のフォルダ構成に、「NEX」フォルダを電子媒体のルート直下に追加する。

「NEX」フォルダには、公社独自の電子データファイルを格納する。

### 【解説】

#### (1) NEX フォルダ

NEX フォルダには、公社独自の電子データファイル（NEX01.XML）およびDTD（NEX01.DTD）を格納する。

#### (2) 公社独自の電子データファイル

- 公社独自の電子データファイルには、該当する「距離標」および「橋脚番号」を「9-2 公社独自の電子データファイル」に従い記入する。  
(※旧橋脚番号もあれば、記入する。)
- 電子データファイルを作成するための記入プログラムは、公社担当職員から入手する。

#### (3) REGISTER フォルダ

「REGISTER」フォルダは作成しない。台帳に関わるデータについては、別途公社の指示に従う。

(4) OTHERS フォルダ

公社のしゅん功資料には、段階確認書や工事履行報告書がないため、「OTHERS」フォルダは作成しない。

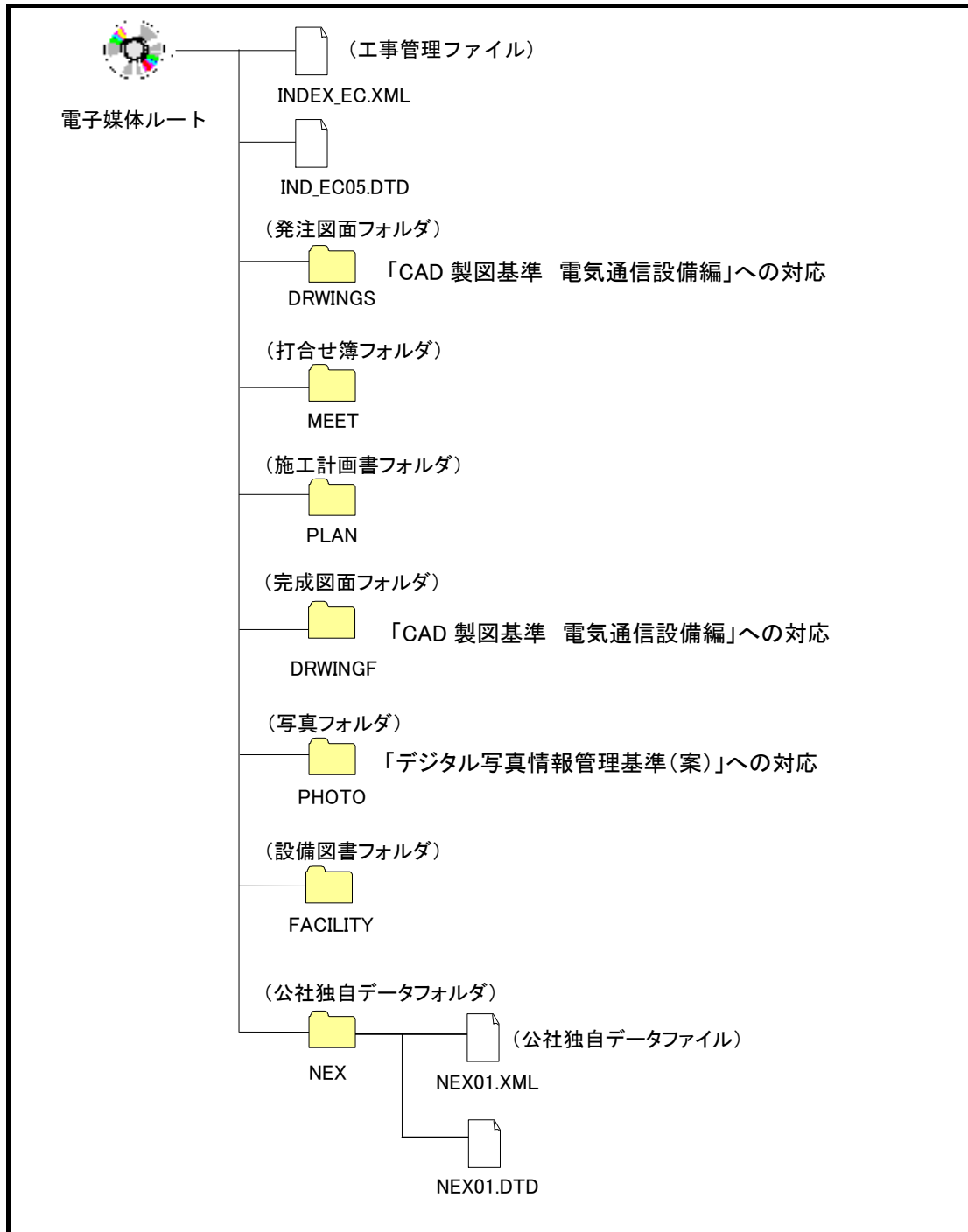


図 2-1 フォルダ構成

## 4 電子成果品等の管理項目

### 4-1 工事管理項目

工事管理項目は、国土交通省版に準拠することを基本とする。ただし、下表の項目については、それぞれ次のように読み替える。

表 2-1 工事管理項目

カテゴリー		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度		
工 事 件 名 等	工事番号	公社が指定する設計書番号 記入する。	半角英数字	7	<input type="checkbox"/>	◎		
	工種- 工法型式	工種	表 2-2より該当するコード を記入する。	半角数字	2	<input type="checkbox"/>	◎	
発 注 者 情 報	発注者-大分類		「名古屋高速道路公社」を記 入する。	全角文字	9	<input type="checkbox"/>	◎	
	発注者-中分類		工事担当部所を記入する。	全角文字	9	<input type="checkbox"/>	◎	
	発注者-小分類		工事担当課を記入する。	全角文字	9	<input type="checkbox"/>	◎	
	発注者コード		「32309004」を記入する。	半角数字	8	<input type="checkbox"/>	◎	
受 注 者 情 報	受注者コード		CORINS 登録後に得る番号 を記入する。無い場合は空白 にする。	半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	○	
場 所 情 報	水 系 路 線 情 報	路線水系名等		表 2-3より該当するコード を記入する。	半角数字	4	<input type="checkbox"/>	◎
		距 離 標 情 報	起点側距離標-n	記入しない。 (公社独自の電子デー タファイルに記入)	-	-	-	-
			起点側距離標-m		-	-	-	-
			終点側距離標-n		-	-	-	-
			終 側距離標-m		-	-	-	-

全角文字と半角英数字が混在している事項については、全角の文字数を示しており、半角英数字は 2 文字で全角 1 文字に相当する。

【記入者】  : 電子媒体作成者が記入する項目

【必要度】 ◎ : 必須記入項目 ○ : データがわかる場合は必ず記入する

#### 【解説】

##### (1) 工事番号（設計書番号）

設計書番号は公社担当者に確認し、記入する。

なお、設計書番号は英字を含むため、国土交通省の電子納品・保管管理 チェックシステムや、電子納品支援ツールのチェック機能でエラーが表示されるが、そのまま納品して良い。



(2) 発注者情報

発注機関コードは会社の CORINS の発注機関コード（「32309004」で固定）を記入する。

【注意事項】

業務管理項目と工事管理項目の発注機関コードは異なるため、詳細設計付き工事等のように業務及び工事の両方の成果品を提出する場合は、混同しないように注意すること。

※業務（TECRIS）の発注機関コード           : 22303004  
工事（CORINS）の発注機関コード           : 32309004

(3) 工種

工種は、以下のルールに従い記入する。

- 工種は下表より選択し、コードを記入する。
- 国土交通省の電子納品・保管管理 チェックシステムや、電子納品支援ツールのチェック機能でエラーが表示されるが、そのまま納品して良い。
- 工種が複数存在する場合、半角カンマ(,)で区切り記入する。

表 2-2 工種およびコード一覧

新 設		補 修	
工 種	コード	工 種	コード
電気工事	51	電気工事	71
電気通信工事	52	電気通信工事	72
建築工事	53	建築工事	73
管工事	54	管工事	74
機械器具設置工事	55	機械器具設置工事	75

#### (4) 路線水系名等

路線水系名等は、以下のルールに従い記入する。

- 路線水系名等は、表 2-3より該当する路線（接続部）の 4桁のコードを記入する。
- 路線水系名等は、国土交通省の電子納品・保管管理 チェックシステムや、電子納品支援ツールのチェック機能でエラーが表示されるが、そのまま納品して良い。
- 路線水系名等が複数存在する場合、半角カンマ(,)で区切り記入する。

例：対象工事の路線水系名等が、高速1号楠線 本線（上り線）および、高速2号楠線 本線（下り線）の場合、路線水系名等には、

『0100 , 0101』

を記入する。

#### (5) 距離標

距離標は、公社独自の電子データファイルに記入する。

表 2-3 路線水系名等のコード一覧（平成 26 年 1 月時点）

路線名	コード 1	出入口	上下線	コード 2
高速都心環状線	00	本線	—	00
		丸の内入口	—	01
		丸の内出口	—	02
		東新町入口	—	03
		東新町出口	—	04
		東別院入口	—	05
		東別院出口	—	06
		名駅入口	—	07
		錦橋出口	—	08
		高速 1 号楠線	01	本線
〃	下り線			01
東新町出口	—			02
東片端入口	—			03
黒川入口	上り線			04
〃	下り線			05
黒川出口	上り線			06
〃	下り線			07
楠入口	—			08
楠出口	—			09
高速 2 号東山線	02	本線	上り線	00
		〃	下り線	01
		白川入口	—	02
		白川出口	—	03
		吹上西入口	—	04
		吹上西出口	—	05
		吹上東入口	—	06
		吹上東出口	—	07
		春岡入口	—	08
		春岡出口	—	09
		四谷入口	—	10
		四谷出口	—	11
		高針入口	—	12
		高針出口	—	13
高速 3 号大高線	03	本線	上り線	00
		〃	下り線	01
		高辻入口	—	02
		高辻出口	—	03
		堀田入口	—	04
		堀田出口	—	05
		呼続入口	—	06
		呼続出口	—	07
		笠寺入口	—	08
		笠寺出口	—	09
		星崎入口	—	10
		大高入口	—	11
		大高出	—	12
		高速 4 号東海線	04	本線
〃	下り線			01
山王入口 (尾頭橋入口)	—			02
尾頭橋出口	—			03
六番北入口 (西郊通入口)	—			04
六番北出口 (西郊通出口)	—			05
六番南入口 (六番町入口)	—			06
六番南出口 (六番町出口)	—			07
港明入口 (港明町入口)	—			08
港明出口 (港明町出口)	—			09

路線名	コード 1	出入口	上下線	コード 2
高速 4 号東海線 (続き)	04	木場入口 (竜宮町入口)	—	10
		木場出口 (竜宮町出口)	—	11
		船見入口 (船見町入口)	—	12
		船見出口 (船見町出口)	—	13
		東海新宝入口 (東海入口)	—	14
		東海新宝出口 (東海出口)	—	15
高速 5 号万場線	05	本線	上り線	00
		〃	下り線	01
		黄金入口	—	02
		黄金出口	—	03
		鳥森入口	—	04
		鳥森出口	—	05
		千音寺入口	—	06
		千音寺出口	—	07
高速 6 号清須線	06	本線	上り線	00
		〃	下り線	01
		明道町入口	—	02
		明道町出口	—	03
		庄内通入口	—	04
		庄内通出口	—	05
		鳥見町入口 (堀越入口)	—	06
		鳥見町出口 (堀越出口)	—	07
		清須入口	—	08
		清須出口	—	09
高速 1 1 号小牧線	11	本線	上り線	00
		〃	下り線	01
		豊山南入口	—	02
		豊山南出口	—	03
		豊山北入口	—	04
		豊山北出口	—	05
		小牧南入口	—	06
		小牧南出口	—	07
		堀の内入口	—	08
		堀の内出口	—	09
		小牧北入口	—	10
小牧北出口	—	11		
高速 1 6 号一宮線	16	本線	上り線	00
		〃	下り線	01
		春日入口	—	02
		春日出口	—	03
		西春入口	—	04
		西春出口	—	05
		一宮西春入口 (西春北入口)	—	06
		一宮西春出口 (西春北出口)	—	07
		一宮南出口	—	08
		一宮東入口 (一宮南入口)	—	09
		一宮東出口 (一宮出口)	—	10
一宮中入口 (一宮入口)	—	11		

接続部名	コード 1	連絡路	コード 2
東片端 JCT	50	高速都心環状線から高速 1 号楠線（下り線）への連絡路	00
		高速 1 号楠線（上り線）から高速都心環状線への連絡路	01
楠 JCT	51	高速 1 号楠線（下り線）から東名阪自動車道（清須方面）への連絡路	00
		東名阪自動車道（清須方面）から高速 1 号楠線（上り線）への連絡路	01
		高速 1 号楠線（下り線）から東名阪自動車道（勝川方面）への連絡路	02
		東名阪自動車道（勝川方面）から高速 1 号楠線（上り線）への連絡路	03
		高速 1 1 号小牧線（上り線）から東名阪自動車道（勝川方面）への連絡路	04
		東名阪自動車道（勝川方面）から高速 1 1 号小牧線（下り線）への連絡路	05
		高速 1 1 号小牧線（上り線）から東名阪自動車道（清須方面）への連絡路	06
東名阪自動車道（清須方面）から高速 1 1 号小牧線（下り線）への連絡路	07		
丸田町 JCT	52	高速都心環状線から高速 2 号東山線（下り線）への連絡路	00
		高速 2 号東山線（上り線）から高速都心環状線への連絡路	01
高針 JCT	53	高速 2 号東山線（下り線）から東名阪自動車道（上社方面）への連絡路	00
		東名阪自動車道（上社方面）から高速 2 号東山線（上り線）への連絡路	01
		高速 2 号東山線（下り線）から名古屋南 I C 方面への連絡路	02
		名古屋南 I C 方面から高速 2 号東山線（上り線）への連絡路	03
鶴舞南 JCT	54	高速都心環状線から高速 3 号大高線（下り線）への連絡路	00
		高速 3 号大高線（上り線）から高速都心環状線への連絡路	01
大高 I C	55	高速 3 号大高線（下り線）から知多半島道路への連絡路	00
		知多半島道路から高速 3 号大高線（上り線）への連絡路	01
		高速 3 号大高線（下り線）から名四国道への連絡路	02
名四国道から高速 3 号大高線（上り線）への連絡路	03		
名古屋南 JCT	56	高速 3 号大高線（下り線）から東名阪自動車道への連絡路	00
		東名阪自動車道から高速 3 号大高線（上り線）への連絡路	01
小牧 JCT	57	高速 1 1 号小牧線（下り線）から名神高速道路への連絡路	00
		名神高速道路から高速 1 1 号小牧線（上り線）への連絡路	01
新州崎 JCT	70	高速都心環状線から高速 5 号万場線（下り線）への連絡路	00
		高速 5 号万場線（上り線）から高速都心環状線への連絡路	01
名古屋西 JCT	71	高速 5 号万場線（下り線）から東名阪自動車道（清須方面）への連絡路	00
		東名阪自動車道（清須方面）から高速 5 号万場線（上り線）への連絡路	01
山王 JCT (山王橋 JCT)	72	高速都心環状線から高速 4 号東海線（下り線）への連絡路	00
		高速 4 号東海線（上り線）から高速都心環状線への連絡路	01
東海 JCT	73	高速 4 号東海線（下り線）から伊勢湾岸自動車道への連絡路	00
		伊勢湾岸自動車道から高速 4 号東海線（上り線）への連絡路	01
明道町 JCT	74	高速都心環状線から高速 6 号清須線（下り線）への連絡路	00
		高速 6 号清須線（上り線）から高速都心環状線への連絡路	01
清洲 JCT (清洲東 JCT)	75	高速 6 号清須線（下り線）から東名阪自動車道（西方面）への連絡路	00
		東名阪自動車道（西方面）から高速 6 号清須線（上り線）への連絡路	01
		高速 6 号清須線（下り線）から東名阪自動車道（東方面）への連絡路	02
		東名阪自動車道（東方面）から高速 6 号清須線（上り線）への連絡路	03
		高速 1 6 号一宮線（上り線）から東名阪自動車道（西方面）への連絡路	04
		東名阪自動車道（西方面）から高速 1 6 号一宮線（下り線）への連絡路	05
		高速 1 6 号一宮線（上り線）から東名阪自動車道（東方面）への連絡路	06
東名阪自動車道（東方面）から高速 1 6 号一宮線（下り線）への連絡路	07		
一宮 I C	76	名神高速道路から高速 1 6 号一宮線（上り線）への連絡路	00
		高速 1 6 号一宮線（上り線）から名神高速道路への連絡路	01

※1 路線水系名等には、コード 1 とコード 2 を合わせた半角数字 4 桁を入力する。

例：高速 1 号楠線 本線（下り線）の場合、[0001]を入力する。

※2 その他は[9999]を入力する。

※3 () は供用開始前の出入口名を指す。

#### 4-2 台帳管理項目

「台帳管理項目」は不要とする。

#### 4-3 その他管理項目

「その他管理項目」は不要とする。

##### 【解説】

公社では、後工程で利用するしゅん功資料を打合せ簿に格納するように規定しているため、「OTHRs」フォルダを作成しない。

#### 4-4 設備図書管理項目

国土交通省版に準拠する。

#### 4-5 施工計画書管理項目

国土交通省版に準拠する。

#### 4-6 打合せ簿管理項目

打合せ簿管理項目は、国土交通省版に準拠することを基本とする。ただし、下表の項目については、次のように読み替えることとする。

表 2-4 打合せ簿管理項目

カテゴリー	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
打 合 せ 簿 情 報	発行日付	発行した日付を記入する。 (国土 通省に準拠)	半角英数字	10	<input type="checkbox"/>	◎
	受理日付	発行した日付を記入する。	半角英数字	10	<input type="checkbox"/>	◎
	完了日付	発行した日付を記入する。	半角英数字	10	<input type="checkbox"/>	◎

【記入者】  : 電子媒体作成者が記入する項目

【必要度】 ◎ : 必須記入項目

## 5 ファイル形式

国土交通省に準拠する。

## 6 ファイルの命名規則

国土交通省版に準拠する。

## 7 電子成果品

### 7-1 電子成果品

電子成果品の情報は、国土交通省版に準じ次の条件を満たさなければならない。

1. 情報の真正性が確保されていること。
2. 情報の見読性が確保されていること。
3. 情報の保存性が確保されていること。

成果品の電子成果品に使用する媒体は、以下の各項目に従うものとする。

- 基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮してDVD-Rも可とする。
- 1枚のCD-R/DVD-Rに情報を格納することを基本とする。
- 論理フォーマットについて、CD-RはISO9660（レベル1）を、DVD-RについてはUDF（UDF Bridge）を標準とする。
- CD-R/DVD-Rのラベルは直接印刷により作成する。

#### 【解説】

- (1) 会社では、1枚のディスクに格納することを基本とし、CD-Rに加え、DVD-Rも可とする。
- (2) 写真ファイル名にロングネームを使用する場合には、事前に監督職員と協議するものとする。
- (3) ラベルシールの貼り付けは、以下の利用により原則禁止とする。
  - CD-R/DVD-Rが正常に回転せず、データが読み取りできない場合がある。
  - 長期保管によるラベルシールの剥がれが原因で、データが読み取りできない場合がある。

#### 【注意事項】

電子署名の適用までの当面の処置として、CD-R/DVD-Rのラベルに押印（後述）を行うため、印影が滲みにくいCD-R/DVD-R（インクジェットプリンタ対応で直接印字可能なCD-R/DVD-R等）を使用すること。

## 7-2 電子媒体の表記規則

成果品の電子納品時における電子媒体に用いるラベルについては、以下のルールに従うものとする。

- CD-R/DVD-R のラベルは、国土交通省版の情報の内、「工事番号」を「設計書番号」に変更する。
- CD-R/DVD-Rは所定のケースに入れ、背表紙に以下の情報を記載する。
  - (1) 工期終了年度に対応した色紙
  - (2) 工事件名
  - (3) 何枚目／総枚数

### 【解説】

- (1) 会社に納品する CD-R/DVD-R のラベルは国土交通省の「工事番号」を「設計書番号」に変更し、以下の通りとする。

(例)

設計書番号：○○○○○○○○ 枚数/全体枚数

平成○年度 ○○○○○○○○工事

平成○年△月

総括監督員	主任監督員	専任監督員

主任技術者	照査	現場代理人

発注者：保全施設部 施設課  
受注者：○○建設株式会社

ウイルス対策ソフト名：○○○○  
 ウィルス定義：○○○○年○月○日版  
 チェック年月日：○○○○年○月○日  
 フォーマット形式：ISO9660 (レベル1)

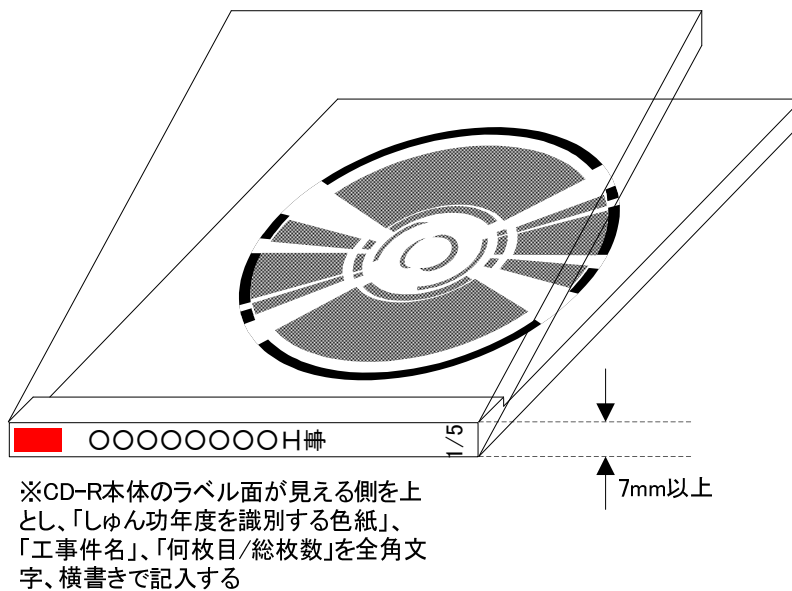
※電子署名の適用までの当面の処置として、CD-R のラベルに押印を行うこととする。

(2) CD-R/DVD-R の背表紙には、以下に示す工期終了年度に対応した色紙を貼る。

表 2-5 ファイルに貼り付ける色紙

工期終了年度	色
平成 25 年度	白色
平成 26 年度	赤色
平成 27 年度	桃色
平成 28 年度	黄色
平成 29 年度	橙色

(作成例)



### 7-3 成果品が複数枚に渡る場合の処置

国土交通省版に準拠する。



## 8 その他留意事項

### 8-1 ウイルス対策

国土交通省版に準拠する。

### 8-2 使用文字

国土交通省版に準拠する。

### 8-3 オリジナルファイルの電子化について

国土交通省版に準拠する。

### 8-4 施工中に紙で交換・共有した書類の取り扱い

今後の維持管理に必要な資料についてはスキャナ等を用いて電子化し、納品することとする。

#### 【解説】

今後の維持管理で必要な資料（電子納品対象資料）については、「巻末資料 しゅん功資料の納品形態」を参照する。

## 9 会社独自の運用ルール

### 9-1 紙媒体のしゅん功資料の電子化

紙媒体のしゅん功資料をスキャナ等により電子化するにあたって、以下のルールに従って実施することとする。

#### (1) 色

「白黒」を原則とする。ただし、パンフレット等、白黒にすると内容が分からない資料については、「カラー」とする。

#### (2) 解像度

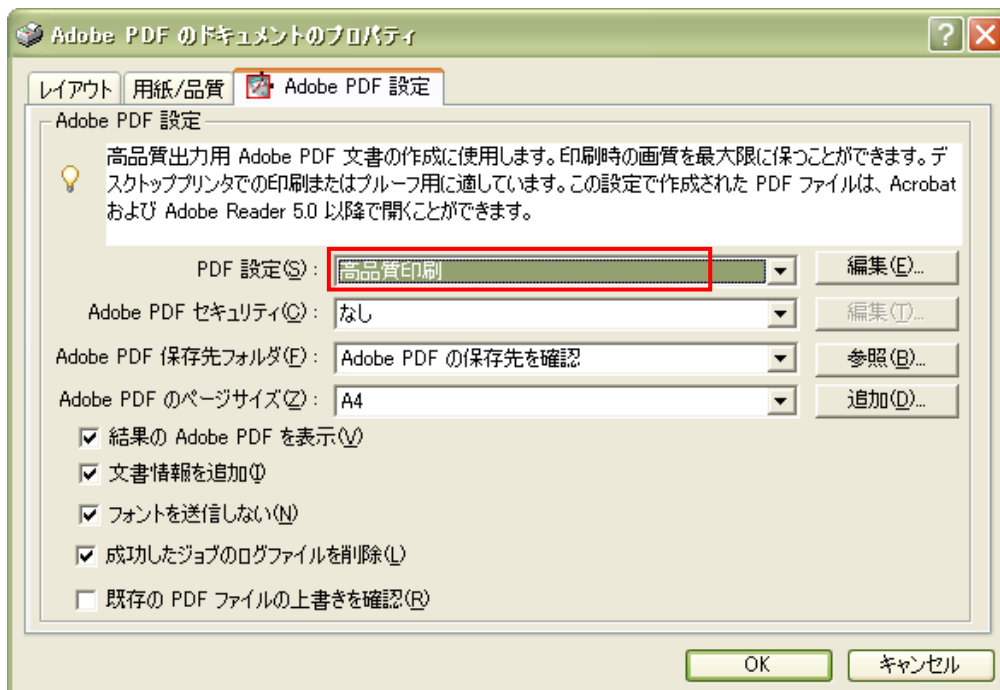
- スキャニング時の解像度は、原則 200dpi とする。
- 配筋図、鉄筋表等複雑な図表類については、原則 300dpi 以上とする。

#### (3) データのファイル形式

データのファイル形式は、原則 PDF 形式とする。

PDF 変換時の画像圧縮率を、原稿に合わせて（画像の有無、スキャニング解像度等）適宜設定する。

Acrobat7.0 を使用する場合は、PDF 設定を「高品質印刷」にする。（下図参照）



## 9-2 会社独自の電子データファイル

会社独自の電子データファイルに記入する項目は下表に示すとおりである。

表 2-6 会社独自の電子データファイル入力項目

カテゴリー	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
橋脚番号	新橋脚番号	供用時に用いる橋脚番号を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	○
	旧橋脚番号	設計時に一時的に用いる橋脚番号を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	○
距離標	自	距離標（自）を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	○
	至	距離標（至）を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	○

全角文字と半角英数字が混在している事項については、全角の文字数を示しており、半角英数字は2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】 ：電子媒体作成者が記入する項目

【必要度】 ○：データがわかる場合は必ず記入

### 【解説】

(1) 工事が複数路線（上下線も区別する）を対象とする場合、複数に分けて所定書式を入力する。

(2) 会社独自の電子データファイル（NEX01.XML）は、入力プログラムを用いて作成する。入力プログラムより出力した、会社独自の電子データファイル（NEX01.XML）および DTD（NEX01.DTD）は、「NEX」フォルダに格納する。

会社独自の電子データファイル（NEX01.XML）の DTD（NEX01.DTD）を以下に示す。

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS'?>
<!--*****-->
<!--          名古屋高速道路会社独自データファイル          -->
<!--          NEX01.DTD / 2004/04          -->
<!--*****-->

<!ELEMENT NEX (橋脚番号*, 距離標*)>
<!ATTLIST NEX DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!ELEMENT 橋脚番号 (新橋脚番号?, 旧橋脚番号?)>
<!ELEMENT 新橋脚番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 旧橋脚番号 (#PCDATA)>

<!ELEMENT 距離標 (自, 至)>
<!ELEMENT 自 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 至 (#PCDATA)>
```

公社独自の電子データファイル（NEX01.XML）の出力例を以下に示す。

```
<?xml version='1.0' encoding='Shift_JIS'?>  
<!DOCTYPE NEX SYSTEM "NEX01.dtd">
```

```
<NEX>  
  <橋脚番号>  
    <新橋脚番号>万上 159</新橋脚番号>  
    <旧橋脚番号>P7</旧橋脚番号>  
  </橋脚番号>  
  <橋脚番号>  
    <新橋脚番号>万上 158</新橋脚番号>  
    <旧橋脚番号>P6</旧橋脚番号>  
  </橋脚番号>  
  <橋脚番号>  
    <新橋脚番号>万下 157</新橋脚番号>  
  </橋脚番号>  
  
  <距離標>  
    <自>万上 6.6</自>  
    <至>万上 6.8</至>  
  </距離標>  
  <距離標>  
    <自>万下 6.6</自>  
    <至>万下 6.8</至>  
  </距離標>  
</NEX>
```

(3) 路線名（接続部名）に対する距離標の識別文字一覧を表 2-7に、橋脚番号の識別文字一覧を表 2-8に示す。

表 2-7 路線名（接続部名）に対する距離標の識別文字一覧（平成 26 年 1 月時点）

路線名	出入口	識別文字※
高速都心環状線	本線	環
	丸の内入口	丸入
	丸の内出口	丸出
	東新町入口	東新入
	東新町出口	東新出
	東別院入口	別入(別院入)
	東別院出口	別出(別院出)
	名駅入口	名入(名駅入)
	錦橋出口	錦橋出
	高速 1 号楠線	本線
〃		楠下
東新町出口		東新出
東片端入口		片入
黒川入口		黒北入
〃		黒南入
黒川出口		黒南出
〃		黒北出
楠入口		楠入
楠出口		楠出
高速 2 号東山線	本線	山上
	〃	山下
	白川入口	白入(白川入)
	白川出口	白出(白川出)
	吹上西入口	吹上西入(吹西入)
	吹上西出口	吹上西出(吹西出)
	吹上東入口	吹上東入(吹東入)
	吹上東出口	吹上東出(吹東出)
	春岡入口	春岡入
	春岡出口	春岡出
	四谷入口	四谷入
	四谷出口	四谷出
	高針入口	高針入
	高針出口	高針出
高速 3 号大高線	本線	大上
	〃	大下
	高辻入口	高辻入
	高辻出口	高辻出
	堀田入口	堀田入
	堀田出口	堀田出
	呼続入口	呼続入
	呼続出口	呼続出
	笠寺入口	笠寺入
	笠寺出口	笠寺出
	星崎入口	星崎入
	大高入口	大高入
	大高出口	大高出
	高速 4 号東海線	本線
〃		海下
山王入口 (尾頭橋入口)		山王入 (尾頭橋入)
(尾頭橋出口)		尾頭出
六番北入口 (西郊通入口)		六北入 (西郊入)
六番北出口 (西郊通出口)		六北出 (西郊出)
六番南入口 (六番町入口)		六南入 (六番入)
六番南出口 (六番町出口)		六南出 (六番出)
港明入口 (港明町入口)		港明入
港明出口 (港明町出口)		港明出

路線名	出入口	識別文字※	
高速 4 号東海線 (続き)	木場入口 (竜宮町入口)	木場入 (竜宮入)	
	木場出口 (竜宮町出口)	木場出 (竜宮出)	
	船見入口 (船見町入口)	船見入	
	船見出口 (船見町出口)	船見出	
	東海新宝入口 (東海入口)	新宝入 (東海入)	
	東海新宝出口 (東海出口)	新宝出 (東海出)	
	高速 5 号万場線	本線	万上
		〃	万下
		黄金入口	黄金入
		黄金出口	黄金出
鳥森入口		鳥森入	
鳥森出口		鳥森出	
千音寺入口		千音寺入(千音入)	
千音寺出口		千音寺出(千音出)	
高速 6 号清須線		本線	清上
		〃	清下
	明道町入口	明道町入(明道入)	
	明道町出口	明道町出(明道出)	
	庄内通入口	庄内通入(庄内入)	
	庄内通出口	庄内通出(庄内出)	
	鳥見町入口 (堀越入口)	鳥見町入 (堀越入)	
	鳥見町出口 (堀越出口)	鳥見町出 (堀越出)	
	清須入口	清入(清州入)	
	清須出口	清出(清州出)	
高速 1 1 号小牧線	本線	小上	
	〃	小下	
	豊山南入口	豊南入	
	豊山南出口	豊南出	
	豊山北入口	豊北入	
	豊山北出口	豊北出	
	小牧南入口	小南入	
	小牧南出口	小南出	
	堀の内入口	堀内入	
	堀の内出口	堀内出	
小牧北入口	小北入		
小牧北出口	小北出		
高速 1 6 号一宮線	本線	宮上	
	〃	宮下	
	春日入口	春日入	
	春日出口	春日出	
	西春入口	西春入	
	西春出口	西春出	
	一宮西春入口 (西春北入口)	宮春入	
	一宮西春出口 (西春北出口)	宮春出	
	一宮南出口	宮南出	
	一宮東入口 (一宮南入口)	宮東入	
一宮東出口 (一宮出口)	宮東出		
一宮中入口 (一宮入口)	宮中入		

接続部名	連絡路	識別文字※
東片端 JCT	高速都心環状線から高速 1 号楠線(下り線)への連絡路	—
	高速 1 号楠線(上り線)から高速都心環状線への連絡路	—
楠 JCT	高速 1 号楠線(下り線)から東名阪自動車道(清須方面)への連絡路	楠 B 出
	東名阪自動車道(清須方面)から高速 1 号楠線(上り線)への連絡路	楠 C 入
	高速 1 号楠線(下り線)から東名阪自動車道(勝川方面)への連絡路	楠 A 出
	東名阪自動車道(勝川方面)から高速 1 号楠線(上り線)への連絡路	楠 D 入
	高速 1 1 号小牧線(上り線)から東名阪自動車道(勝川方面)への連絡路	楠 E 出
	東名阪自動車道(勝川方面)から高速 1 1 号小牧線(下り線)への連絡路	楠 H 入
	高速 1 1 号小牧線(上り線)から東名阪自動車道(清須方面)への連絡路	楠 F 出
	東名阪自動車道(清須方面)から高速 1 1 号小牧線(下り線)への連絡路	楠 G 入
丸田町 JCT	高速都心環状線から高速 2 号東山線(下り線)への連絡路	丸田北
	高速 2 号東山線(上り線)から高速都心環状線への連絡路	丸田南
高針 JCT	高速 2 号東山線(下り線)から東名阪自動車道(上社方面)への連絡路	高 A 出
	東名阪自動車道(上社方面)から高速 2 号東山線(上り線)への連絡路	高 C 入
	高速 2 号東山線(下り線)から名古屋南 I C 方面への連絡路	高 B 出
	名古屋南 I C 方面から高速 2 号東山線(上り線)への連絡路	高 D 入
鶴舞南 JCT	高速都心環状線から高速 3 号大高線(下り線)への連絡路	—
	高速 3 号大高線(上り線)から高速都心環状線への連絡路	—
大高 I C	高速 3 号大高線(下り線)から知多半島道路への連絡路	知多出
	知多半島道路から高速 3 号大高線(上り線)への連絡路	知多入
	高速 3 号大高線(下り線)から名四国道への連絡路	名四出
名古屋南 JCT	名四国道から高速 3 号大高線(上り線)への連絡路	名四入
	高速 3 号大高線(下り線)から東名阪自動車道への連絡路	(未決定)
小牧 JCT	東名阪自動車道から高速 3 号大高線(上り線)への連絡路	(未決定)
	高速 1 1 号小牧線(下り線)から名神高速道路への連絡路	小 H 出
新州崎 JCT	名神高速道路から高速 1 1 号小牧線(上り線)への連絡路	小 E 入
	高速都心環状線から高速 5 号万場線(下り線)への連絡路	—
名古屋西 JCT	高速 5 号万場線(上り線)から高速都心環状線への連絡路	—
	高速 5 号万場線(下り線)から東名阪自動車道(清須方面)への連絡路	西出 A
山王 JCT (山王橋 JCT)	東名阪自動車道(清須方面)から高速 5 号万場線(上り線)への連絡路	西入 H
	高速都心環状線から高速 4 号東海線(下り線)への連絡路	—
東海 JCT	高速 4 号東海線(上り線)から高速都心環状線への連絡路	—
	高速 4 号東海線(下り線)から伊勢湾岸自動車道への連絡路	(未決定)
明道町 JCT	伊勢湾岸自動車道から高速 4 号東海線(上り線)への連絡路	(未決定)
	高速都心環状線から高速 6 号清須線(下り線)への連絡路	—
清洲 JCT (清洲東 JCT)	高速 6 号清須線(上り線)から高速都心環状線への連絡路	—
	高速 6 号清須線(下り線)から東名阪自動車道(西方面)への連絡路	清 F 出
	東名阪自動車道(西方面)から高速 6 号清須線(上り線)への連絡路	清 B 入
	高速 6 号清須線(下り線)から東名阪自動車道(東方面)への連絡路	清 A 出
	東名阪自動車道(東方面)から高速 6 号清須線(上り線)への連絡路	清 H 入
	高速 1 6 号一宮線(上り線)から東名阪自動車道(西方面)への連絡路	清 D 出
	東名阪自動車道(西方面)から高速 1 6 号一宮線(下り線)への連絡路	清 E 入
	高速 1 6 号一宮線(上り線)から東名阪自動車道(東方面)への連絡路	清 G 出
東名阪自動車道(東方面)から高速 1 6 号一宮線(下り線)への連絡路	清 C 入	
一宮 I C	名神高速道路から高速 1 6 号一宮線(上り線)への連絡路	宮 A 入
	高速 1 6 号一宮線(上り線)から名神高速道路への連絡路	宮 B 出

※ ( )は供用開始前の出入口名を指す。  
供用開始前の出入口名は、供用開始後に変更される可能性がある。

表 2-8 路線名に対する橋脚番号の識別文字一覧（平成 26 年 1 月時点）

路線名	識別文字※	備考	路線名	識別文字※	備考	
高速都心環状線	環		高速 4 号東海線 (続き)	港明入		
	東出			港明出		
	東入			木場入		
	丸田北	[丸北]でも可		木場出		
	別出			船見入		
	別入			船見出		
	名駅入			東海入		
	丸入			東海出		
	丸出			西H		
	錦出			万上		
高速 1 号楠線	楠		万下			
	楠C入口		万			
	楠C		西A			
	楠D入口		千入			
	楠D		千出			
	黒		鳥出			
	A R	(番号なし)	鳥入			
	黒入		黄入			
	黒入北		黄出			
	黒出		高速 6 号清須線	清		
	黒入南			清上		
	楠入			清下		
	楠出			明出入		
楠下		庄出入				
片入		鳥入				
山		鳥出				
丸北		清須入				
丸南		清須出				
白入		清B入				
白出		清H入				
山上		高速 1 1 号小牧線	小			
山下			小北入			
吹出			小北出			
高針			小南出			
高針C入P			楠H入			
U	ボックス番号		小牧出			
B	ボックス番号		小牧入			
BL	ボックス番号		豊南入			
BR	ボックス番号		豊北入			
大			豊北出			
高速 3 号大高線	大上		堀内出			
	大下		高速 1 6 号一宮線	宮		
	大北入			宮上		
	大入			宮下		
	大北出			春入		
	大出			春出		
	堀入			西春出		
	呼続出			西春入		
	呼続入			宮春入		
	笠寺入			宮春出		
	星崎入			宮南出		
	知多出			宮東入		
	名四入			宮東出		
	名四出			宮中入		
	知多入			清B入		
	高速 4 号東海線	海			清E入	
		海上			清C入	
海下				清H入		
山王入			宮A入			
尾頭出			宮B出			
六北入						
六北出						
六南入						
六南出						

※橋脚番号の識別文字は、全て全角文字とする。

付属資料1 国土交通省「工事完成図書の電子納品要領（案）電気通信設備編」との比較表

表 2-9 「工事完成図書の電子納品要領（案）電気通信設備編」比較表

項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
適用	電気通信設備工事共通仕様書	電気・通信設備工事共通仕様書
フォルダの構成	電子媒体のルート直下に ¥DRAWINGS：発注図 ¥MEET：打合せ簿 ¥PLAN：施工計画書 ¥DRAWINGF：完成図 ¥PHOTO：写真 ¥OTHERS：工事履行報告書、段階確認書 ¥FACILITES：設備図書	国土交通省版のフォルダ構成に以下のフォルダを追加  ¥NEX：公社独自のデータフォルダ
電子成果品等の管理項目	表 2-10、表 2-11、表 2-12、表 2-13を参照	
ファイル形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理情報ファイル：XML 形式</li> <li>打合せ簿オリジナルファイル：協議の上決定</li> <li>施工計画書オリジナルファイル：協議の上決定</li> <li>発注図/完成図ファイル： 「CAD 製図基準（案）電気通信設備編」に従う。</li> <li>写真ファイル： 「デジタル写真管理情報基準（案）」に従う</li> </ul>	国土交通省版に準拠
ファイルの命名規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書ファイル、オリジナルファイル： 半角英数字 8 文字+3 文字（拡張子）</li> <li>打合せ簿管理ファイル：MEET.XML</li> <li>施工計画書管理ファイル：PLAN.XML</li> <li>打合せ簿オリジナルファイル： Mnnnn_mm.XXX</li> <li>施工計画書オリジナルファイル： PLAnn_mm.XXX</li> <li>特記仕様書オリジナルファイル： SPECnn.XXX</li> <li>設備図書オリジナルファイル： FCLnn_mm.XXX</li> </ul>	国土交通省版に準拠
電子成果品	情報の真正性、見読性、保存性を確保すること	国土交通省版の記述に、以下のルールを追加する <ul style="list-style-type: none"> <li>成果品を1枚のCD-R/DVD-Rに格納できることを基本とする。</li> <li>ラベルは直接印刷により作成</li> </ul>
電子媒体の表記規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>媒体のラベルに明記する項目。 (1) 工事番号 (2) 工事名称 (3) 作成年月 (4) 発注者名 (5) 受注者名 (6) 何枚目/総枚数 (7) ウイルスチェックに関する情報 (8) フォーマット形式（CD-R の場合）</li> <li>媒体を入れるケースの背表紙 (1) 工事名称 (2) 作成年月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>媒体のラベルに明記する項目 工事番号を設計書番号に変更</li> <li>媒体を入れるケースの背表紙 (1) 工期終了年度 (2) 工事件名 (3) 何枚目/総枚数</li> </ul>
成果品が複数枚に渡る場合の処置	<p>基本的には1枚の媒体に格納する。複数枚にわたる場合は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラベルに何枚目/総枚数を明記</li> <li>媒体のルートからのフォルダ構成は変えない。</li> <li>工事管理ファイルを各媒体のルート直下に添付する。</li> </ul>	国土交通省版に準拠

項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
ウイルス対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注者は、成果品が完成した時点でウイルスチェックを行う。</li> <li>・ ウイルスソフトはシェアの高いものを利用</li> <li>・ ウイルスチェックは最新のデータで行う。</li> <li>・ ラベルにウイルスチェックに関する情報として以下を記載する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 使用したウイルス対策ソフト名</li> <li>(2) ウイルス定義年月日またはパターンファイル名</li> <li>(3) チェック年月日</li> </ol>	国土交通省版に準拠
使用文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半角文字は、JIS X 0201 のラテン文字用図形文字のみとする（片仮名用図形文字を除く）。</li> <li>・ 全角文字は、JIS X 0208 の文字のみとする（数字とラテン文字を除く）。</li> </ul>	国土交通省版に準拠
オリジナルファイルの電子化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図表等は、文書ファイルにリンクまたはペーストして管理する。なお、これらは属性ファイルで管理を行わず、文書内容で図表等を判断できればよいこととする。</li> <li>・ ペーストしていない図表等は文書ファイルと分離した形で属性ファイルとして管理する。なお、属性ファイルでは、図表等の位置（ページ数、図表番号等）を管理しない。</li> </ul>	国土交通省版に準拠
施工中に紙で交換・共有した書類の取り扱い	事前に対象書類を協議する必要がある。	<u>電子化困難な資料の内、維持補修に必要な資料は電子化の対象</u>



表 2-10 工事管理項目比較表

	項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版	
基礎情報	メディア番号	提出した媒体の通し番号	国土交通省版に準拠	
	メディア総枚数	提出した媒体の総枚数	国土交通省版に準拠	
	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版 （「電通 201009-01」で固定）	「電通 201009-01」で固定	
	施工計画書フォルダ名	施工計画書管理ファイルと施工計画書オリジナルフォルダを格納するフォルダ名称 （PLAN で固定）	「PLAN」で固定	
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	施工計画書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称 （PLAN/ORG で固定）	「PLAN\ORG」で固定	
	打合せ簿フォルダ名	打合せ簿管理ファイルと打合せ簿オリジナルファイルフォルダを格納するフォルダ名称 （MEET で固定）	「MEET」で固定	
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	打合せ簿オリジナルファイルを格納するフォルダ名称 （MEET/ORG で固定）	「MEET\ORG」で固定	
	写真フォルダ名	写真属性情報ファイル、写真フォルダ、参考図フォルダを格納するフォルダ名称 （PHOTO で固定）	「PHOTO」で固定	
	工事完成図フォルダ名	工事完成図を格納するフォルダ名称 （DRAWINGF で固定）	「DRAWINGF」で固定	
	台帳フォルダ名	台帳データを格納するフォルダ名称 （REGISTER で固定）	<u>作成しない</u>	
	台帳オリジナルファイルフォルダ名	台帳オリジナルファイルを格納するフォルダ名称	<u>作成しない</u>	
	台帳オリジナルファイルフォルダ日本語名	台帳オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称	<u>作成しない</u>	
	地質データフォルダ名	地質データを格納するフォルダ （BORING で固定）	<u>作成しない</u>	
	その他フォルダ名	その他管理ファイル、その他オリジナルフォルダを格納するフォルダ名称 （OTHRs で固定）	<u>作成しない</u>	
	その他オリジナルファイルフォルダ名	工事履行報告書及び段階確認書オリジナルファイルを格納するフォルダ名称 （OTHRs/ORG で固定）	<u>作成しない</u>	
	その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	その他オリジナルファイルを格納するフォルダの日本語名称	<u>作成しない</u>	
	設備図書フォルダ名	設備図書を格納するフォルダ名称 （FACILITY で固定）	「FACILITY」で固定	
	設備図書オリジナルファイルフォルダ名	設備図書ファイルを格納するフォルダ名称 （FACILITY/ORG で固定）	「FACILITY/ORG」で固定	
	工事件名等	発注年度	工事の発注年度	国土交通省版に準拠
		工事番号	発注者が定める工事番号	<u>公社指定の設計書番号を記入</u>
工事名称		工事件名	国土交通省版に準拠	
工事実績システム登録番号		CORINS が発行する受領書に記載の番号	国土交通省版に準拠	
工事分野		CORINS の分類に従った工事の分野	国土交通省版に準拠	
工事業種		CORINS の分類に従った工事の業種	国土交通省版に準拠	
工種		CORINS の分類に従った工事の工種	<u>表 2-2より該当するコードを記入</u>	
工法型式		CORINS の分類に従った工事の工法・型式	国土交通省版に準拠	
住所		施工場所	国土交通省版に準拠	

項目		国土交通省版	名古屋高速道路公社版
	工期開始日	工期の開始年月日	国土交通省版に準拠
	工期終了日	工期の終了年月日	国土交通省版に準拠
	工事内容	工事概要及び主工種とその数量	国土交通省版に準拠
場所情報	測地系	日本測地系は「00」、世界測地系（日本測地系 2000）は「01」	国土交通省版に準拠
	対象水系路線名	CORINS の路線水系名等	<u>表 2-3より該当するコードを記入</u>
	現道・旧道区分	「現道:1」、「旧道:2」、「新道:3」、「未調査:0」のいずれか。	国土交通省版に準拠
	対象河川コード	「河川コード仕様書(案)」に準拠し発注者が指示する河川コード	国土交通省版に準拠
	左右岸上下線コード	河川の左岸・右岸の別または道路の上下線の別を示す左右岸上下線コード（複数記入可）	国土交通省版に準拠
	起点側測点-n	（自）No n+m の n	国土交通省版に準拠
	起点側測点-m	（自）No n+m の m	国土交通省版に準拠
	終点側測点-n	（至）No n+m の n	国土交通省版に準拠
	終点側測点-m	（至）No n+m の m	国土交通省版に準拠
	起点側距離標-n	（自）n Km+m の n	<u>記入しない</u>
	起点側距離標-m	（自）n Km+m の m	<u>記入しない</u>
	終点側距離標-n	（至）n Km+m の n	<u>記入しない</u>
	終点側距離標-m	（至）n Km+m の m	<u>記入しない</u>
	西側境界座標経度	対象地域の最西端の座標	国土交通省版に準拠
東側境界座標経度	対象地域の最東端の座標	国土交通省版に準拠	
北側境界座標緯度	対象地域の最北端の座標	国土交通省版に準拠	
南側境界座標緯度	対象地域の最南端の座標	国土交通省版に準拠	
施設情報	施設名称	施設名称	国土交通省版に準拠
発注者情報	発注者-大分類	発注者の官庁名、団体名	<u>「名古屋高速道路公社」で固定</u>
	発注者-中分類	発注者の局名、支社名	<u>担当部所を記入</u>
	発注者-小分類	事務所名	<u>担当課を記入</u>
	発注者コード	CORINS の発注機関コード	<u>「32309004」を記入</u>
受注者情報	受注者名	企業名（正式名称）	国土交通省版に準拠
	受注者コード	発注者が定める受注者コード	<u>CORINS 登録後に得る番号を記入（無い場合は記入しない）</u>
予備	その他予備事項（複数記入可能）		国土交通省版に準拠
ソフトメーカー用 TAG	ソフトメーカー管理用		国土交通省版に準拠

表 2-11 設備図書管理項目比較表

項目		国土交通省版	名古屋高速道路公社版
設備図書情報	シリアル番号	設備図書の通し番号	国土交通省版に準拠
	設備図書名称	設備図書の標題	国土交通省版に準拠
	設備図書オリジナルファイル名	設備図書のオリジナルファイル名	国土交通省版に準拠
	設備図書オリジナルファイル日本語名	設備図書ファイルに関する日本語名	国土交通省版に準拠
	設備図書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報	国土交通省版に準拠
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容	国土交通省版に準拠
	受注者説明文	受注者側で付けるコメント	国土交通省版に準拠
	発注者説明文	発注者側で付けるコメント	国土交通省版に準拠
	予備	その他の予備項目	国土交通省版に準拠
ソフトメーカー用 TAG		ソフトメーカー管理用	国土交通省版に準拠

表 2-12 施工計画書管理項目比較表

項目		国土交通省版	名古屋高速道路公社版
施工計画書情報	シリアル番号	施工計画書の通し番号	国土交通省版に準拠
	施工計画書名称	施工計画書の標題	国土交通省版に準拠
	施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書のオリジナルファイル名	国土交通省版に準拠
	施工計画書オリジナルファイル日本語名	施工計画書ファイルに関する日本語名	国土交通省版に準拠
	施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報	国土交通省版に準拠
	オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容	国土交通省版に準拠
	受注者説明文	受注者側で付けるコメント	国土交通省版に準拠
	発注者説明文	発注者側で付けるコメント	国土交通省版に準拠
	予備	その他の予備項目	国土交通省版に準拠
ソフトメーカー用 TAG		ソフトメーカー管理用	国土交通省版に準拠

表 2-13 打合せ簿管理項目比較表

項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
シリアル番号	打合せ簿の通し番号	国土交通省版に準拠
上位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿が派生した上位にあたる打合せ簿のシリアル番号	国土交通省版に準拠
下位打合せ簿シリアル番号	当該打合せ簿から派生した下位にあたる打合せ簿のシリアル番号	国土交通省版に準拠
工事帳票種類	「打合せ簿」「工事履行報告書」「材料確認願」「段階確認書」「確認・立会願」の工事帳票の鑑の種類	国土交通省版に準拠
打合せ簿種類	打合せ簿の種類 (「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」)	国土交通省版に準拠
打合せ簿名称	打合せ簿の標題	国土交通省版に準拠
管理区分	「施工管理」「安全管理」「出来形管理」「品質管理」「出来高管理」「原価管理」「工程管理」「写真管理」	国土交通省版に準拠
図面ファイル名	関連する図面がある場合は、図面管理項目の[図面ファイル名]	国土交通省版に準拠
シリアル番号	関連する写真がある場合は、写真管理項目の[シリアル番号]	国土交通省版に準拠
作成者	発行元と作成者	国土交通省版に準拠
提出先	打合せ簿の提出先	国土交通省版に準拠
発行日付	発行した日付	国土交通省版に準拠
受理日付	受理した日付	<b>発行日付を記入</b>
完了日付	発注者又は受注者が処理・回答した日付	<b>発行日付を記入</b>
打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿のファイル名	国土交通省版に準拠
打合せ簿オリジナルファイル日本語名	打合せ簿ファイルに関する日本語名	国土交通省版に準拠
工種区分・工種	新土木工事積算体系レベル 2 を記入	<b>記入しない</b>
工種区分・種別	新土木工事積算体系レベル 3 を記入	<b>記入しない</b>
工種区分・細別	新土木工事積算体系レベル 4 を記入	<b>記入しない</b>
打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	オリジナルファイルの作成ソフトとバージョン情報	国土交通省版に準拠
オリジナルファイル内容	オリジナルファイルの内容	国土交通省版に準拠
受注者説明文	受注者側で打合せ簿に付けるコメント	国土交通省版に準拠
発注者説明文	発注者側で打合せ簿に付けるコメント	国土交通省版に準拠
予備	その他予備項目	国土交通省版に準拠
ソフトメーカー用 TAG	ソフトメーカー管理用	国土交通省版に準拠

打合せ簿情報

## 第3編 「CAD 製図基準 電気通信設備編」 への対応

# 1 総則

## 1-1 適用範囲

本編は、電気・通信施設設計業務または工事において CAD データを納品する際に適用する。

### 【解説】

- (1) 本ガイドラインは、電気・通信施設設計業務の成果図面等に適用する。対象図面が標準設計図集等に収録されている場合は、その呼び名を明示するとともに、その構造図などを添付することとする。
- (2) ここに規定していない事項については、下記の基準に順番に従うこととする。
  - 1) 名古屋高速道路公社において規定されている共通仕様書
  - 2) 電気通信設備据付標準図等
  - 3) 土木製図基準：平成 15 年【(社)土木学会】
  - 4) (財)日本建設情報総合センター：電子データ交換ガイドブック第二版
- (3) 本ガイドライン（案）は、CAD データでの納品に適用するが、紙媒体での納品の場合にも準用して使用することが可能である。

## 1-2 図面様式（紙出力様式）

### 1-2-1 図面の大きさ

国土交通省版に準拠する。

### 1-2-2 図面の正位

国土交通省版に準拠する。

### 1-2-3 輪郭（外枠）と余白

国土交通省版に準拠する。

### 1-2-4 表題欄

#### 1. 表題欄の位置

国土交通省に準拠する。

#### 2. 記載事項、及び 3.表題欄の様式

A0 および A1 サイズにおける表題欄の寸法及び様式は、以下を標準とする。1枚の図面に尺度の異なる構造物が複数存在する場合は、代表的な尺度を表題欄に記入する。

10		20		20		10		10		10		10		20			
しゅん功年度				しゅん功年月日								7					
工 事 施 工	平成 年度	工事番号				図面番号				7							
	工事名															9	
	施工者名															7	
	工期															7	
	工事施工者 照査		照査担当主任技術者				照 査				6						
										12							
設 計	平成 年度	設計年月日				設計図番号				7							
	設計件名															9	
	設計者	主任技術者				照 査				設 計				6			
														12			
	公社担当 部署	保 全 施 設 部				施 設 課				6							
主任(電気)		審 査								7							
										12							
路 線 名										縮尺		8					
図 面 名															8		
名古屋高速道路公社															10		

### 1-2-5 尺度

紙に出力した図面の尺度は、特記仕様書に示す尺度を適用する。

## 1-3 CAD データの作成

### 1-3-1 CAD データファイルのフォーマット

CAD データファイルのフォーマットは、現時点では AutoCAD 2014 との互換が確保された DWG 形式を原則とする。

#### 【解説】

公社では、当面は DWG 形式による納品とし、将来的には SXF 形式<sup>\*</sup>に移行することとする。

なお、国土交通省の電子納品・保管管理 チェックシステムでデータ形式やレイヤチェックに関するエラーが表示されるが、そのまま納品して良い。

<sup>\*</sup>国土交通省では、CAD データファイルのフォーマットを CAD データ交換標準規格である SXF (p21) 形式で納品することとなっている。SXF 形式は国際標準規格 ISO 10303 (STEP) に準拠した形式となっており、データの長期保管が保証されている。

### 1-3-2 CAD データの名称

国土交通省版に準拠する。

### 1-3-3 SAF ファイルの名称

公社では SAF ファイルは作成しない。

### 1-3-4 ラスタファイルの名称

ラスタファイルは DWG 形式の中に埋め込むためファイルは作成しない。

### 1-3-5 レイヤの名称

国土交通省版に準拠する。

### 1-3-6 レイヤ名構成

国土交通省版に準拠する。

### 1-3-7 ファイル分類方法

国土交通省版に準拠する。



#### 1-3-8 色

国土交通省版に準拠する。

#### 1-3-9 線

国土交通省版に準拠する。

#### 1-3-10 文字

国土交通省版に準拠する。

#### 1-3-11 図形及び寸法の表し方

コンクリート構造物については、公社「コンクリート構造物標準図集」に、鋼構造物については、公社「鋼構造物標準図集」に基づくものとする。シンボルについては、JISC0303:2000「構内電気設備の配線用図記号」並びに公共建築協会「電気設備工事標準図」等によるものとする。その他の図形は、土木製図基準に準ずる。

#### 1-3-12 部分図の作成

国土交通省版に準拠する。

## 1-4 成果品

### 1-4-1 CAD データに関する成果品ならびにフォルダ構成

国土交通省版に準拠する。

### 1-4-2 図面管理項目

図面管理項目は、国土交通省版に準拠することを基本とする。ただし、下表の項目については、次のように読み替えることとする。

表 3-1 図面管理項目

カテゴリー		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
共通情報	対象工種 (数値)	表 3-2 より該当するコードを記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	◎
	追加工種 追加対象工種 (数値)	表 3-2 より該当するコードを記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	◎
	追加工種 追加対象工種 (概要)	表 3-2 より該当する工種名称を記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	◎
図面情報	対象工種 (数値)	表 3-2 より該当するコードを記入する。	半角数字	3	<input type="checkbox"/>	◎

※複数ある場合はこの項を必要な回数繰り返す。

【記入者】  : 電子媒体作成者が記入する項目

【必要度】 ◎ : 必須入力

#### 【解説】

工種は、以下のルールに従い記入する。

- 表 3-2を参考に、「数値」にはコードを、「概要」には工種名称を記入する。
- 国土交通省の電子納品・保管管理 チェックシステムや、電子納品支援ツールのチェック機能でエラーが表示されるが、そのまま納品して良い。

表 3-2 工種およびコード一覧

新 設		補 修	
工種名称	コード	工種名称	コード
電気工事	151	電気工事	171
電気通信工事	152	電気通信工事	172
建築工事	153	建築工事	173
管工事	154	管工事	174
機械器具設置工事	155	機械器具設置工事	175

1-5 部分データ等の利用について

国土交通省版に準拠する。

1-6 測量データに関する取扱い

国土交通省版に準拠する。

1-7 対象とする工種および図面種類

公社「特記仕様書」の工種および図面種類を対象とする。

## 2 「2.電気施設設計～4.情報通信システム設計」の対応について

図面の尺度等については、公社「特記仕様書」に従うものとする。

### 【解説】

国土交通省の工種と公社の工種は体系が異なるため、本項に記載されている図面の尺度等については、公社の「特記仕様書」に従い作成する。

付属資料2 国土交通省「CAD 製図基準（案） 電気通信設備編」との比較表

表 3-3 「CAD 製図基準（案） 電気通信設備編」の比較表

項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
適用範囲	電気通信設備設計業務等または工事において図面を納品時に適用する。	<u>電気・通信設備に関する設計または工事において図面を納品する際に適用</u>
図面の大きさ、正位輪郭と余白、表題欄、尺度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図面の大きさはA列</li> <li>・ 図面の正位は、長辺が横方向</li> <li>・ 輪郭と余白： <ul style="list-style-type: none"> <li>輪郭線は実線、線の太さは A0,A1 では 1.4mm、その他は 1.0mm</li> <li>輪郭外の余白は A0,A1 では 20mm 以上、その他は 10mm 以上</li> </ul> </li> <li>・ 図面を綴る場合、綴る側に 20mm のとじ代幅</li> <li>・ 表題欄の位置は右下を原則。</li> <li>・ 尺度は共通仕様書に示す尺度</li> </ul>	国土交通省版に準拠 <u>表題欄は公社の様式に基づく</u>
CAD データファイルのフォーマット	CAD データファイルのフォーマットは原則として <u>SXF(P21)</u> とする。	<u>AutoCAD 2014 との互換性を持つ DWG 形式</u>
CAD データの名称	ファイル名（半角英数 8 文字）、拡張子 ファイル名の各文字は、先頭から以下の通り 1 文字目：ライフサイクル D-設計、C-施工、M-維持管理 2 文字目：整理番号(0~9、A~Z) 3~4 文字目：図面種類 5~7 文字目：図面番号（001~A~Z） 8 文字目：改訂履歴（0~9、A~Y、最終は Z を使用）	国土交通省版に準拠 <u>図面種類は公社指定の番号を記入</u>
SAF ファイルの名称	ファイル名（半角英数 8 文字）.SAF ファイル名の各文字は、先頭から以下の通り 1 文字目：ライフサイクル D-設計、C-施工、M-維持管理 2 文字目：整理番号(0~9、A~Z) 3~4 文字目：図面種類 5~7 文字目：図面番号（001~A~Z） 8 文字目：改訂履歴（0~9、A~Y、最終は Z を使用）	<u>SAF ファイルは作成しない</u>
ラスタファイルの名称	[SXF Ver2.0 の場合] ファイル名（半角英数 8 文字）.拡張子 1 文字目：ライフサイクル D-設計、C-施工、M-維持管理 2 文字目：整理番号(0~9、A~Z) 3~4 文字目：図面種類 5~7 文字目：図面番号（001~A~Z） 8 文字目：改訂履歴（0~9、A~Y、最終は Z を使用） [SXF Ver3.0 の場合] ファイル名（半角英数 8 文字）.拡張子 1 文字目：ライフサイクル D-設計、C-施工、M-維持管理 2 文字目：整理番号(0~9、A~Z) 3~4 文字目：図面種類 5~7 文字目：図面番号（001~A~Z） 8 文字目：ラスタファイル番号（0~9）	<u>ラスタデータを使用する場合は DWG 形式に埋め込む</u>
レイヤ名の名称	画層名は、以下の原則に従うものと規定されて、最大 9 文字で構成される。 1 文字目：ライフサイクル D-設計、C-施工、M-維持管理 2~5 文字目：図面のオブジェクトを表現 6~9 文字目：作図要素を表現	国土交通省版に準拠

項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
レイヤ名構成	レイヤ名構成は、レイヤ 1,2,3 に分け、それらの組み合わせにより電気通信設備編の全工種、全図面に対応する。	国土交通省版に準拠
ファイル分類方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>全てのファイルを目的と機能から 4 種類（案内図、説明図、構造図、詳細図）に分類</li> <li>レイヤを図面オブジェクト別で 7 分類（図枠、背景、基準、主構造物、副構造物、材料表、説明・着色）に分類</li> </ul>	国土交通省版に準拠
色	原則 16 色	国土交通省版に準拠
線	JIS Z 8312:1999 に準拠	国土交通省版に準拠
文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>CAD データ中の文字： JIS Z 8313:1998 に基づくことを原則</li> <li>管理項目に用いる文字： 半角文字は JIS X 0201 による規定文字から片仮名用図形文字を除いたラテン文字図形文字のみ 全角文字は、JIS X 0208 による規定文字から数字とラテン文字を除いた文字</li> </ul>	国土交通省版に準拠
図形の寸法及び表現	土木製図基準に準拠 シンボルは、JISC0303:2000「構内電気設備の配線用図記号」並びに公共建築協会「電気設備工事標準図」などに基づく。	<u>公社の標準図集に準拠</u> <u>シンボルは、JISC0303:2000「構内電気設備の配線用図記号」並びに公共建築協会「電気設備工事標準図」等に準拠</u>
部分図の利用	部分図座標系に実寸で定義し、用紙に配置 輪郭等座標系と関係ないものは用紙座標系に配置	国土交通省版に準拠
成果品	<ul style="list-style-type: none"> <li>CAD データによる成果品： 上位要領に従う</li> <li>図面管理項目：表 3-4 を参照</li> <li>ファイル形式：XML 形式</li> <li>管理項目における使用文字： 上位要領に従う</li> <li>電子媒体：上位要領に従う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CAD データによる成果品： 国土交通省版に準拠</li> <li>図面管理項目： 表 3-4 を参照</li> <li>ファイル形式： 国土交通省版に準拠</li> <li>管理項目における使用文字 国土交通省版に準拠</li> <li>電子媒体：国土交通省版に準拠</li> </ul>
部分データ等の利用について	留意事項： <ul style="list-style-type: none"> <li>CAD による部品の取り扱い</li> <li>位置図等での市販地図の利用</li> </ul>	国土交通省版に準拠
測量データの取り扱い	線種、線幅等の記載内容を変更せずに利用 レイヤは SUV レイヤを利用	国土交通省版に準拠
対象とする工種および図面種類	電気施設設計、通信施設設計、情報通信システム設計に分割し、尺度およびファイル分類について規定	<u>公社「特記仕様書」に基づく</u>
電気施設設計	各詳細設計の設計図面に対する尺度とファイルの分類を規定	—
通信施設設計	各詳細設計の設計図面に対する尺度とファイルの分類を規定	—
情報通信システム設計	各詳細設計の設計図面に対する尺度とファイルの分類を規定	—

表 3-4 図面管理項目の比較表

	項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
共通情報	適用要領基準	図面作成時に適用した「本基準(案)」を電通 2010 09-01 等の記入例に従い記入	国土交通省版に準拠
	対象工種	24 工種と地質を 001-025 の数値で入力	表 3-2に示すコードを記入
	追加対象工種	定義していない工種を追加する場合は 100-999 の数値を入力	表 3-2に示すコードを記入
	追加対象工種(概要)	上記追加工種の概要を入力	表 3-2に示す工種名称
	追加サブフォルダ名称	サブフォルダの名称	国土交通省版に準拠
	追加サブフォルダ概要	上記フォルダの概要	国土交通省版に準拠
図面情報	図面名	表題欄に記述する図面名	国土交通省版に準拠
	図面ファイル名	図面ファイルのファイル名	国土交通省版に準拠
	作成者名	表題欄に記述する会社名	国土交通省版に準拠
	図面ファイル作成ソフトウェア名	図面ファイルを作成したソフトウェア名とバージョン	国土交通省版に準拠
	縮尺	図面尺度	国土交通省版に準拠
	図面番号	表題欄に記述する図面番号	国土交通省版に準拠
	対象工種	34 工種と地質を 001-035 の数値で入力	表 3-2 に示すコードを記入
	SXF のバージョン	SXF のバージョンを記入	記入しない
	SAF ファイル名	SAF ファイル名を記入	記入しない
	ラスタファイル数	ラスタファイルの枚数を記入する	[0]で固定
	ラスタファイル名	ラスタファイル名を記入	記入しない
	追加図面種類	定義していない図面種類を追加した場合は 2 文字の略語を入力	国土交通省版に準拠
	追加図面種類(概要)	上記の概要を入力	国土交通省版に準拠
	格納サブフォルダ	追加したサブフォルダ名を入力	国土交通省版に準拠
	測地系	日本測地系：00、世界測地系：01	国土交通省版に準拠
	基準点情報緯度	図面中一点の緯度を入力	国土交通省版に準拠
	基準点情報経度	図面中一点の経度を入力	国土交通省版に準拠
	基準点情報平面直角座標系番号	図面中一点の平面直角座標の系番号を入力	国土交通省版に準拠
	基準点情報平面直角座標 X 座標	図面中一点の平面直角座標の X 座標を入力	国土交通省版に準拠
	基準点情報平面直角座標 Y 座標	図面中一点の平面直角座標の Y 座標を入力	国土交通省版に準拠
	新規レイヤ名	レイヤ名を追加する場合にレイヤを入力	国土交通省版に準拠
	新規レイヤ(概要)	上記の概要を入力	国土交通省版に準拠
	受注者説明文	受注者のコメントを記入	国土交通省版に準拠
	発注者説明文	発注者のコメントを記入	国土交通省版に準拠
	予備	予備項目を記入	国土交通省版に準拠
	ソフトメーカー用 TAG	ソフトメーカー管理用	国土交通省版に準拠

## 第4編 「デジタル写真管理情報基準」 への対応



## 1 適用

国土交通省版に準拠する。

## 2 フォルダ構成

国土交通省版に準拠する。

## 3 写真管理項目

写真情報管理ファイルに記入する写真管理項目は、国土交通省版に準拠するが下表の項目については、それぞれ次のように読み替える。

表 4-1 写真管理項目

分類	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報	工種	表 4-2より適切な項目を記入する。	全角文字	20	<input type="checkbox"/>	○
	種別	表 4-2より適切な項目を記入する。	全角文字	20	<input type="checkbox"/>	○
	細別	表 4-2より適切な項目を記入する。	全角文字	20	<input type="checkbox"/>	○
	写真タイトル	写真内容がわかるように、公社「電気・通信設備工事共通仕様書」における「第1編第9.4.1項」の「撮影項目」「名称」「撮影頻度」に相当する内容を記入する。	全角文字	40	<input type="checkbox"/>	◎

全角文字と半角英数字が混在している事項については、全角の文字数を示しており、半角英数字は2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】 ：電子媒体作成者が記入する項目

【必要度】 ◎：必須記入項目 ○：データがわかる場合は必ず記入

### 【解説】

工種・種別・細別について

工種・種別・細別は、公社「電気・通信設備工事共通仕様書」の第1編第9章「写真管理要領」に基づき、“表 4-2 工種・種別・細別一覧”より適切な項目を選択し、記入する。

表 4-2 工種・種別・細別一覧

工種	種別	細別
機器製作状況	組立中	記入しない
	完成後	記入しない
	品質管理	記入しない
工事状況写真	「第4節 撮影箇所及び撮影要領」の「名称」の内、適切な項目を記入する。	「第4節 撮影箇所及び撮影要領」の「撮影項目」の内、適切な項目を記入する。
出来形確認	着手前	記入しない
	施工中	記入しない
	寸法確認	記入しない
	完成	記入しない
材料検収	「第4節 撮影箇所及び撮影要領」の「名称」の内、適切な項目を記入する。	「第4節 撮影箇所及び撮影要領」の「撮影項目」の内、適切な項目を記入する。
品質確認	同上	同上
工事用仮設備、 保安施設等、 その他写真	同上	同上

#### 4 ファイル形式

国土交通省版に準拠する。

#### 5 ファイル命名規則

国土交通省版に準拠する。

#### 6 写真編集等

国土交通省版に準拠する。

## 7 有効画素数

国土交通省版に準拠する。

## 8 撮影頻度と提出頻度の取り扱い

電子媒体で提出する場合は、公社「電気・通信設備工事共通仕様書」における「第1編第9.4.1項」の「撮影頻度」に基づくものとする。

## 9 その他留意事項

国土交通省版に準拠する。

付属資料 3 国土交通省「デジタル写真管理情報基準（案）」との比較表

表 4-3 「デジタル写真管理情報基準（案）」比較表

項目	国土交通省版	名古屋高速道路公社版
適用	写真等の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の仕様を定めたもの	国土交通省版に準拠
フォルダ構成	電子媒体の¥PHOTO の直下に ¥PIC：撮影した写真ファイルを格納 ¥DRA：参考図ファイルを格納	国土交通省版に準拠
写真管理項目	表 4-4を参照	
ファイル形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真管理ファイル：XML</li> <li>・ 写真ファイル：JPEG</li> <li>・ 参考図：JPEG、TIFF(G4)</li> <li>・ スタイルシート：任意</li> </ul>	国土交通省版に準拠
ファイル命名規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファイル名、拡張子は半角英数大文字</li> <li>・ ファイル名は 8.3 形式</li> <li>・ 写真管理ファイル名：PHOTO.XML</li> <li>・ DTD：PHOTO05.DTD</li> <li>・ スタイルシート：PHOTO05.XSL</li> <li>・ 写真ファイル名：Pnnnnnnn.JPG</li> <li>・ 参考図ファイル名：Dnnnnnnn.XXX</li> </ul>	国土交通省版に準拠
写真編集等	写真編集は認めない	国土交通省版に準拠
有効画素数	黒板の文字が確認できること	国土交通省版に準拠
撮影頻度と提出頻度の取り扱い	写真管理基準（案）に基づく	<u>公社「電気・通信設備工事共通仕様書」における「第 1 編第 9.4.1 項」の「撮影頻度」に基づく</u>
その他留意事項	その他電子納品に関わる事項は原則として「土木設計業務等の電子納品要領(案)」、「工事完成図書の電子納品要領(案)」に基づく	国土交通省版に準拠

表 4-4 「デジタル写真管理情報基準（案）」写真管理項目比較表

項目		国土交通省版	名古屋高速道路公社版
情報 基礎	写真フォルダ名	写真を格納するフォルダ名	国土交通省版に準拠
	参考図フォルダ名	参考図を格納するフォルダ名称	国土交通省版に準拠
	適用基準	適用した基準名称	国土交通省版に準拠
写真 情報	シリアル番号	写真通し番号	国土交通省版に準拠
	写真ファイル名	写真の名称	国土交通省版に準拠
	写真ファイル日本語名	写真の日本語名	国土交通省版に準拠
	メディア番号	電子媒体のメディア番号	国土交通省版に準拠
	写真・大分類	種別（設計・測量・調査・工事等）	国土交通省版に準拠
	写真区分	写真管理区分： 着手前完成・施工状況・材料・安全・ 品質・出来形など	国土交通省版に準拠
	工種	新土木積算体系のレベル 2	表 4-2より選択
	種別	新土木積算体系のレベル 3	表 4-2より選択
	細別	新土木積算体系のレベル 4	表 4-2より選択
	写真タイトル	写真の撮影内容、撮影項目	公社「電気・通信設備工事共通仕様書」 における「第 1 編第 9.4.1 項」の「撮影項 目」「名称」「撮影頻度」の内容を記入
	工種区分予備	工種区分に関する予備項目	国土交通省版に準拠
	参考図ファイル名	参考図面のファイル名	国土交通省版に準拠
	参考図ファイル日本語名	参考図面の日本語ファイル名	国土交通省版に準拠
	参考図タイトル	参考図のタイトル	国土交通省版に準拠
	付加情報予備	付加情報に関する予備項目	国土交通省版に準拠
	撮影箇所	測点位置、撮影内容、位置図面上の記号	国土交通省版に準拠
	撮影年月日	写真を撮影した日付 CCYY-MM-DD	国土交通省版に準拠
	代表写真	工事の全体概要や当該工事で重要とな る代表写真の場合、「1」を記入する。 代表写真でない場合は未記入とする。	国土交通省版に準拠
	提出頻度写真	写真管理基準の提出頻度に基づく写真 の場合は「1」を記入する。 それ以外の場合は「0」を記入する。	「0」で固定
	施工管理値	設計寸法および実測寸法など	国土交通省版に準拠
受注者説明文	受注者側で写真につけるコメント	国土交通省版に準拠	
ソフトメーカー用 TAG		ソフトメーカー管理用	国土交通省版に準拠

巻末資料 しゅん功資料の納品形態

分類	番号	小分類	名称	電子化 対象資料※	紙媒体 対象資料※	備考
渉外	6000 7200	一般	監督員通知書(控)			
			特種車両通行許可書			
			地元回答書		□	
			各種打ち合わせ議事録			
			工事説明会議事録			
工事施工	6020 7230	一般	工事ニュース			
			工程表(控)			
			着工届(控)			
			現場代理人・主任技術者等届(控)			
			設計主任技術者届			
			技術者名簿			
			現場代理人・主任技術者等変更届(控)			
			照査担当主任技術者・照査担当技術者届			
			安全推進者等届			
			統轄安全衛生責任者等届			
			地下埋設物保安責任者届			
			現場溶接作業経歴書			
			溶接工技術証明書			
			工事下請承諾申出書(控)			
			工事下請通知書			
			しゅん功届(控)			□
			一部しゅん功届(控)			
			引渡書(控)			
			完成代金請求書(控)			
			立会要望書、立会願			
			夜間・日曜・祝日・休日時間外作業願			
			安全講習会報告書			
			検査願			
			工事材料検査願			
			材料使用(施工法)承諾願			
既済部分検査申出書(控)						
検査復命書						
ステッカー管理台帳						
塗装塗板見本						
工事施工	6022 7232	工事施工	1) 施工管理(データ、記録)			
			出来形管理図、図表、測定表			
			測量成果表(施工上の成果)			
			その他施工記録			
			使用材料報告書		□	
			照査報告書			
			仮説構造物審査報告書			
			高力ボルト施工記録			
			2) 品質管理(データ、記録)			
			生コンクリート試験成績書			
			各種試験結果等成績表			
			各種試験結果等報告書			
			品質証明書(ミルシート等)		□	
			材料伝票、ラベル			
			コンクリート打設管理表			
			その他管理表			
			施工計画書			
			施工要領書	○		CD-R内の「 <b>YYPLAN</b> 」フォルダに格納する。
			製作要領書			
			工事写真(現場、工場)	○		
			検査結果報告書(工場分)		□	
			検査結果報告書(その他)			
			指示書	○		CD-R内の「 <b>YYMEET</b> 」フォルダに格納する。
			工事報告書	◎		CD-R内の「 <b>YYFACILITY</b> 」フォルダに格納する。
			工事打合せ簿	○		CD-R内の「 <b>YYMEET</b> 」フォルダに格納する。
工程管理	6023 7232	工程管理	実施工程表	○		
			出来高報告書	○		CD-R内の「 <b>YYMEET</b> 」フォルダに格納する。
調査・測量	6030 7240	一般	各種届、願ひ、申請書、その他		□	
			調査報告書(整本)			
	6032 7242	調査成果品	各種報告書、設計書原図、図面原図、打合簿、調査施工計画書		□	
			測量報告書(成果品)			
6033 7242	測量成果品	各種計算書、報告書原図、図面原図、打合簿、作業月報		□		
		各種届、願ひ、申請書、その他				
しゅん功	6040 7230	一般	各種届、願ひ、申請書、その他		□	
			6041 7233	しゅん功図書	しゅん功図	◎
	設計図面					
	設計計算書					
	材料計算書	○				設計業務等の電子納品運用ガイドラインに基づき格納する。
	面積計算書					
	線形計算書					
計算書(その他)						
図面【原図】		□				
機器完成図(機器承諾図)	◎		CD-R内の「 <b>YYFACILITY</b> 」フォルダに格納する。 ※CAD製図基準(案)に基づき格納する。			
工事計画	6300 7230	一般			□	
			6301	施工計画		
	7232	施工要領書(簡易なもの) 作業計画書(簡易なもの)	○		CD-R内の「 <b>YYPLAN</b> 」フォルダに格納する。	
損害処理	6310 6311	一般	損害賠償		□	
			損害賠償・損失補償	損失補償 ※事前・事後調査に係る家屋等調査報告書 第三者損害賠償に係る関係調書 事故報告書		□

◎：電子納品対象のしゅん功資料(保全業務で再利用性が高いもので、電子納品必須) □：電子納品対象外のしゅん功資料、紙媒体で納品  
 ○：電子納品対象のしゅん功資料(保全業務で再利用性が低いもので、受発注者間の協議による) ■：電子納品に加え、紙媒体も納品  
 ※マイクロフィルム、ジャケットフィルムおよびフィッシュフィルムについては現行通り、提出する。